

## 上下水道事業の経営戦略の改定について

### 総務省より経営戦略の改定（今後5年に1回）の要請

公営企業が、将来にわたって安定的に事業継続を行うための中長期的な経営基本計画である「経営戦略」について、総務省より改定の要請があり、当市の上下水道事業はH29年度に経営戦略を策定・公表して以降、改定していなかったため、R4年度に改定を決定し、上下水道事業運営審議会や議会を経てR6年度に改定・公表の運びとなりました。

### 駒ヶ根市上下水道事業経営戦略の改定の概略

- ◎ 計画期間を令和6年度～令和15年度まで（10年間）としました。
- ◎ 対象は、水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業 の公営企業です。
- ◎ 経営戦略の内容
  - ① 施設、組織、料金体系、将来環境の見通し等を表示
  - ② 他団体（類似団体）との比較分析
  - ③ 経営の基本方針
  - ④ 収支計画の策定

（各事業についての上記の項目は、次のページ以降で説明します）

- 水道事業経営戦略の概況・・・・・・・・・・2ページ
- 公共下水道事業経営戦略の概況・・・・・・4ページ
- 農業集落排水事業経営戦略の概況・・・・6ページ

# 水道事業 経営戦略の概要

## ◎表示項目

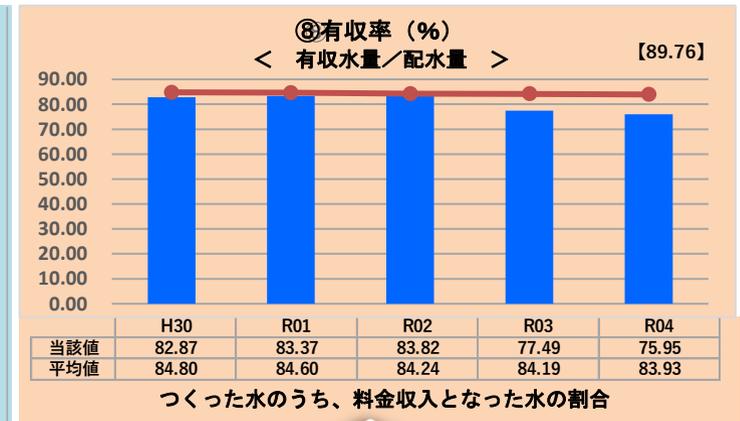
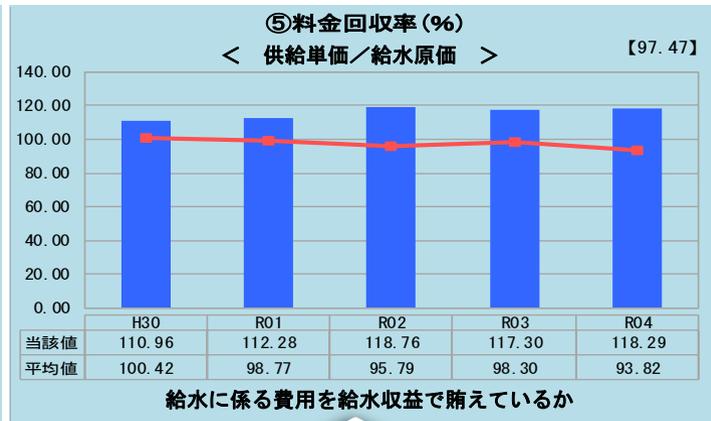
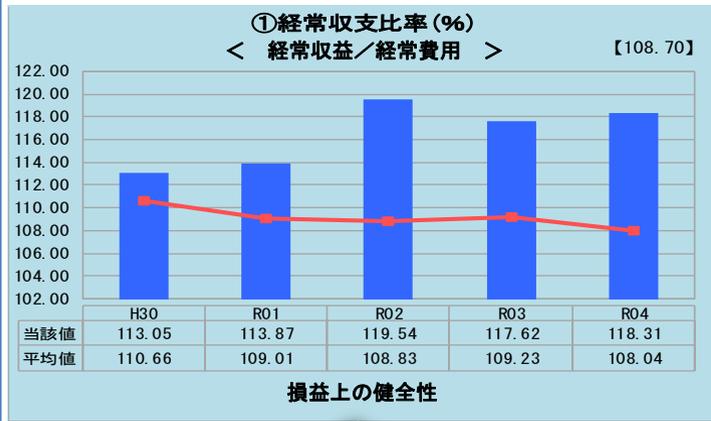
- 施設・・・浄水場8箇所、配水池19箇所、管路延長:364km ほか
- 組織・・・上下水道課長1名、上水道係4名、業務係1名、水源管理人8名、委託業者(徴収業務)1社
- 水道料金体系(2ヵ月当たり)・・・(基本料金1,560円+従量(使用水量)料金)×1.1(消費税)
- 将来環境の見通し・・・人口減少による料金収入の減、老朽化施設の増加、経年管路の増加

### グラフ凡例

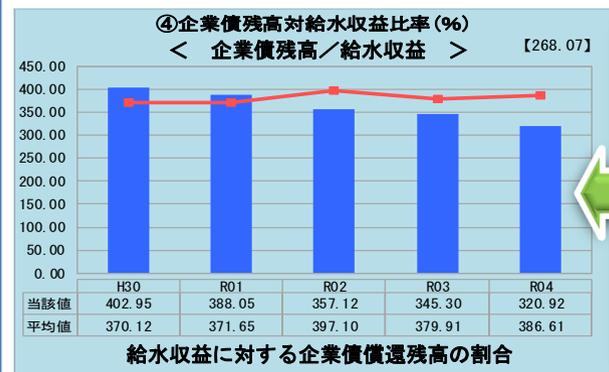
- 当該値 (駒ヶ根市)
- 類似団体 (平均値)
- 令和4年度全国平均

県内の類似団体: 岡谷市・諏訪市など  
末端給水事業のうち  
給水人口3万人~5万人のグループ

## ◎類似団体との比較分析(R4決算)

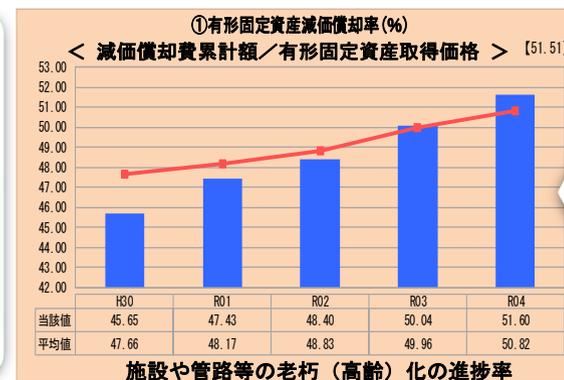


経常収支比率、料金回収率は類似団体に比べ良好な数値となっている。有収率は下回っている。  
有収率は低いですが、効率的な事業運営がされている。



企業債残高は類似団体に比べ少ない。

配水池等の更新により、今後上昇する見込みです。



固定資産の老朽化は類似団体並みである。

年々増加傾向にあり資産の老朽化は進んでいる。

## ◎経営の基本方針

1. 経常収支比率及び料金回収率について、全年度で100%以上を達成する
2. 老朽化した管路や施設等を計画的に更新する
3. 補填財源残高5億円以上を維持するため、令和10年度及び令和13年度を目途に、水道料金を両年度で+5%ずつ改定を計画
4. 企業債残高の着実な減少を図りつつ、補填財源確保のため必要な企業債発行を継続する

## ◎投資・財政計画(収支計画)

### 現状のまま

単位:千円

年度	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
当年度純利益	116,681	50,210	25,343	19,891	15,478	△ 294,190	4,851	△ 5,388	△ 9,905	△ 13,867	△ 25,209	△ 31,615
補填財源残高	1,033,175	729,072	700,486	687,545	620,154	516,419	478,373	481,365	446,370	415,037	384,104	350,652
企業債残高	2,149,524	2,292,433	2,231,252	2,114,419	2,043,290	2,149,176	2,090,884	1,992,053	1,950,764	1,918,195	1,896,609	1,877,744

### 料金改定(令和10年度+5%、令和13年度+5%)した場合 ⇒ こちらを経営戦略に計上予定

単位:千円

年度	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
当年度純利益	116,681	50,210	25,343	19,891	15,478	△ 294,190	35,446	25,023	20,324	47,731	36,020	29,246
補填財源残高	1,033,175	729,072	700,486	687,545	620,154	516,419	508,968	542,372	537,606	567,871	598,167	625,575
企業債残高	2,149,524	2,292,433	2,231,252	2,114,419	2,043,290	2,149,176	2,090,884	1,992,053	1,950,764	1,918,195	1,896,609	1,877,744

# 公共下水道事業 経営戦略の概要

グラフ凡例

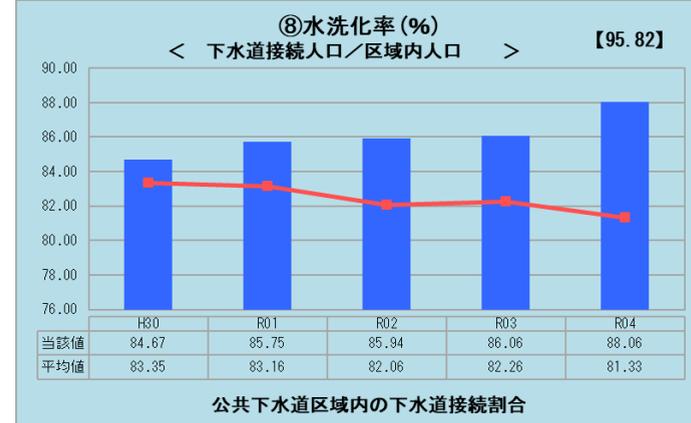
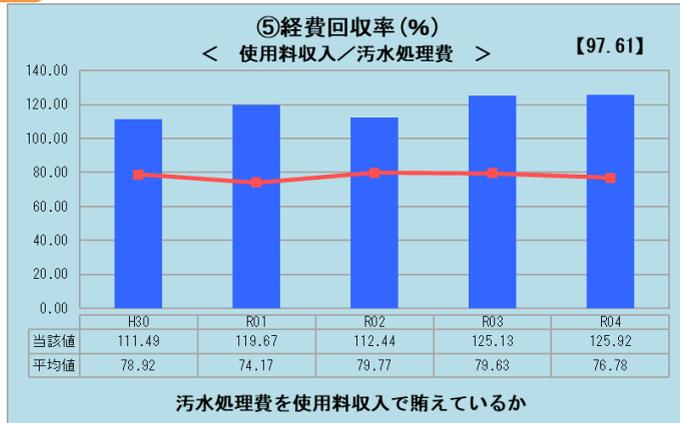
- 当該値(駒ヶ根市)
- 類似団体(平均値)
- 【 】令和4年度全国平均

県内の類似団体：小諸市・東御市  
(区域内人口3万人未満、人口密度25人/ha未満、供用開始後15～29年のグループ)

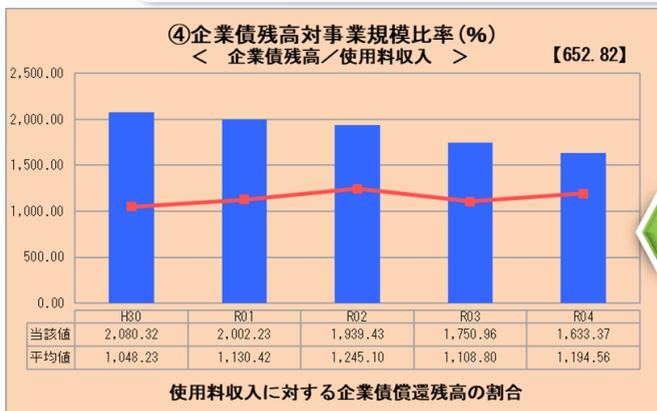
## ◎表示項目

- 施設・・・処理場(駒ヶ根浄化センター)、マンホールポンプ場 57箇所、管渠(かんきょ)延長:206km ほか
- 組織・・・上下水道課長1名、下水道係2名、駒ヶ根浄化センター所長1名、業務係2名、委託業者(徴収業務)1社
- 下水道使用料体系(2カ月当たり)・・・(基本使用料2,000円+従量(使用水量)使用料)×1.1(消費税)
- 将来環境の見通し・・・人口減少による使用料収入の減、老朽化施設の増加、農業集落排水事業との一部統合の検証と検討

## ◎類似団体との比較分析(R4決算)

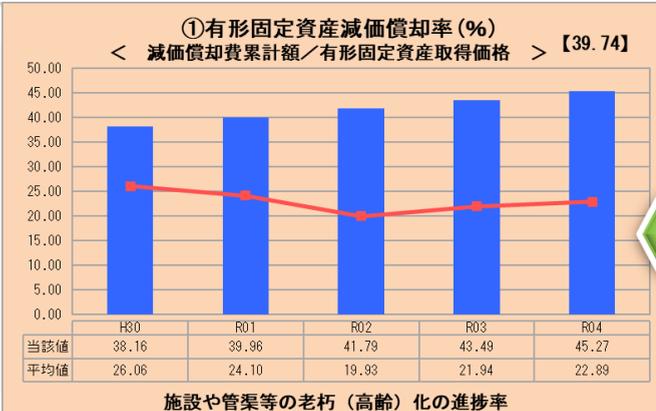


経常収支比率、経費回収率、水洗化率は類似団体に比べ良好な数値となっている。  
類似団体に比べ効率的な経営を行っている。



企業債残高は類似団体に比べて多い。

起債を活用した下水道普及(先行投資)を実施してきたため。



固定資産の老朽化は類似団体に比べて進んでいる。

浄化センターの機械・設備を中心に老朽化している。

## ◎経営の基本方針

1. 経常収支比率及び経費回収率について、全年度で100%以上を達成する
2. スtockマネジメント計画等を基にした、駒ヶ根浄化センターの設備等の更新(老朽化対策)を実施する
3. 令和15年度に水洗化率93%以上とするため、更なる下水道接続の促進(文書送付、説明会の開催等)を実施する
4. 補填財源残高5億円以上を維持するため、令和10年度及び令和13年度を目途に、下水道使用料を両年度で+5%ずつ改定を計画
5. 農業集落排水事業との広域化(一部統合)を見据えた汚水処理計画を策定する

## ◎投資・財政計画(収支計画)

### 現状のまま

単位:千円

年度	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
当年度純利益	136,781	153,823	109,789	123,834	120,971	110,489	95,049	90,297	89,215	87,310	87,011	89,393
補填財源残高	554,308	545,790	594,245	637,778	650,639	640,479	590,492	527,624	498,044	468,218	424,158	381,406
企業債残高	6,623,371	6,221,512	5,984,155	5,813,835	5,673,334	5,524,497	5,264,432	4,992,907	5,047,921	5,013,534	4,731,688	4,468,365

### 使用料改定(令和10年度+5%、令和13年度+5%)した場合 ⇒ こちらを経営戦略に計上予定

単位:千円

年度	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
当年度純利益	136,781	153,823	109,789	123,834	120,971	110,489	113,999	109,150	107,970	125,559	125,062	127,247
補填財源残高	554,308	545,790	594,245	637,778	650,639	640,479	609,443	565,427	554,602	563,025	557,016	552,117
企業債残高	6,623,371	6,221,512	5,984,155	5,813,835	5,673,334	5,524,497	5,264,432	4,992,907	5,047,921	5,013,534	4,731,688	4,468,365

# 農業集落排水事業 経営戦略の概要

## ◎表示項目

- 施設 … 処理場(8地区浄化センター)、マンホールポンプ場30箇所、管渠延長166kmほか
- 組織 … 上下水道課長1名、下水道係1名、業務係1名、農業集落排水管理組合8地区
- 下水道使用料体系(1カ月あたり) … 【定額制】竜西5地区 2,860円(税込) 竜東3地区 3,080円(税込)
- 将来環境の見通し … 人口減少による使用料収入の減、施設の老朽化、公共下水道事業との統合の検証と検討

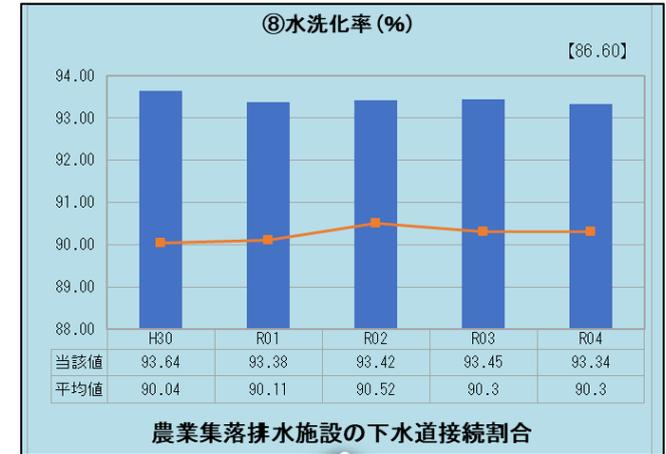
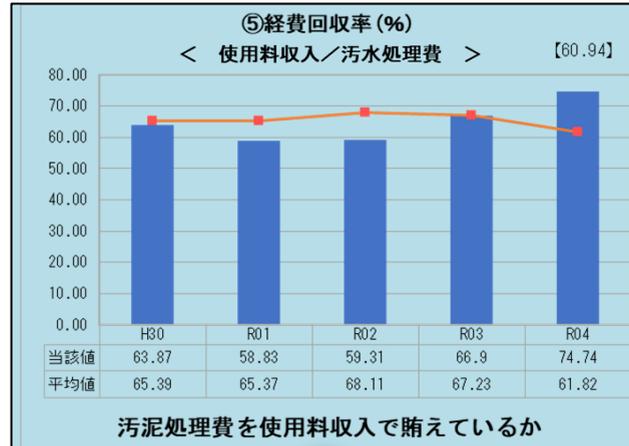
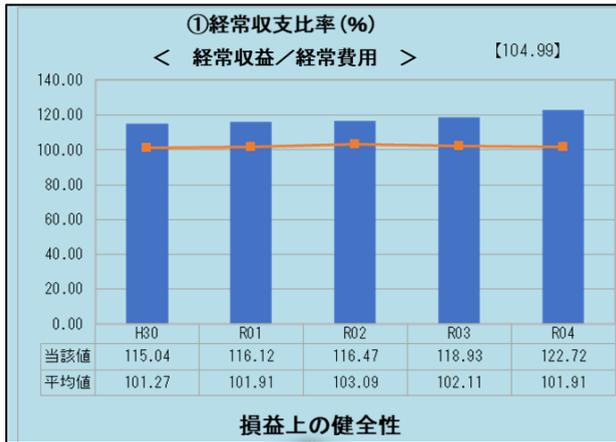
### グラフ凡例

- 当該値(駒ヶ根市)
- 類似団体(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

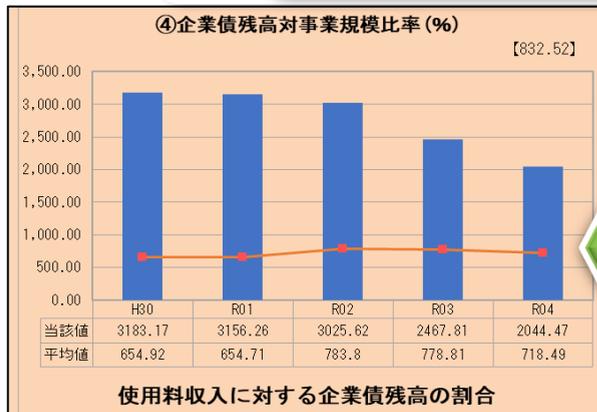
長野県内の類似団体【飯田市、須坂市】  
(類似団体の判断基準)

- ①年間有収水量を供用開始区域面積で除した値が2.5千 $m^3$ /ha以上、5.0千 $m^3$ /ha未満
- ②供用開始後25年以上

## ◎類似団体との比較分析(R4決算)

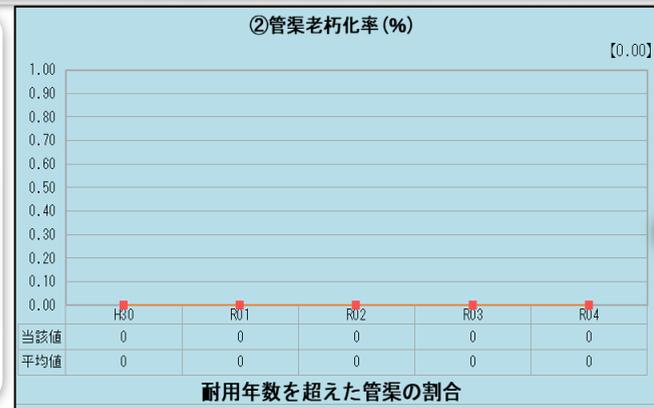


経常収支比率、経費回収率、水洗化率は類似団体に比べ良好な数値となっている。  
類似団体に比べ効率的な経営を行っている。



企業債残高は類似団体に比べて多い。

起債を活用し、先行投資により下水道を普及してきたため。



現状、耐用年数を超える管渠は無い。

当面、更新の必要性なし。令和20年度以降、一部管渠が耐用年数を超す。

## ◎経営の基本方針

1. 投資効果を検証し、将来を見据えた適正な施設の処理能力の見直しや長寿命化計画に基づいた施設の更新を実施する
2. 施設の更新（建設改良費）など、年度間の事業費が平準化するよう長期的視点での調整する
3. 公共下水道事業との一部統合による施設の統廃合について検討を進める

## ◎投資・財政計画(収支計画)

### 今後10年間の収支計画

単位：千円

年度	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
当年度 純利益	112,014	82,553	69,647	68,322	67,209	64,604	59,678	53,489	47,519	43,314	36,790	32,640
補填財源 残高	1,190,631	1,176,807	1,128,701	1,099,122	1,069,127	1,048,715	1,039,755	1,043,202	991,431	1,044,202	1,091,938	1,093,193
企業債 残高	3,752,436	3,484,856	3,207,286	2,956,214	2,725,042	2,489,308	2,298,849	2,100,034	1,855,381	1,716,384	1,601,140	1,424,224

農業集落排水事業の使用料改定については、現状の使用料体系を10年間継続した場合においても補填財源残高を10億円以上維持できるため、使用料は据え置きとした。

## 経営戦略の結果と対応

### ○水道事業（水道）

このままの料金体系ですと経営は赤字に陥り、補てん財源残高（施設等の更新財源）についても減少する一方です。よって、令和 10 年度及び令和 13 年度に「+5%」ずつの料金改定を計画しました。

### ○公共下水道事業（下水道）

このままの使用料体系ですと経営は黒字が減少し、補てん財源残高（施設等の更新財源）についても減少する一方です。よって、令和 10 年度及び令和 13 年度に「+5%」ずつの使用料改定を計画しました。

### ○農業集落排水事業（下水道）

使用料体系は定額制であり、経営は黒字が減少していく傾向ですが、補填財源残高（施設等の更新財源）は維持する見込みですので、使用料は据え置きとしました。

## 経営戦略の今後の予定

経営戦略は既定路線ではなく、公表後は毎年度の決算後に経営戦略を見直し、決算値と乖離した場合は改定を実施します。また、大きく乖離していない場合でも、改定から最低 5 年に 1 回は改定を行い、経営の見直しを図ります。